

	課題分析	授業改善策
数学	<ul style="list-style-type: none">・基本的な計算問題を解く「技能」を持ち合わせている生徒は多い。しかし、式の形や答えが複雑になると正しい答えを導くことができない生徒が増える。・「思考・判断・表現」の問題になると、式を立てることができない生徒が増える。既習事項を結びつけることができていない。・短答式の問題の正答率に比べ、記述式の問題の正答率が低くなっている。	<ul style="list-style-type: none">・計算の過程を説明させ、他の生徒が理解できているのか確認する機会を設ける。・式を立てるときに、何に着目したのかを確認するなど、式を立てる考え方に触れ、思考力を養う。・発展クラスでは他の生徒に解き方を説明できるようにしたり、基礎クラスでは立式できるようにしたりして、習熟度別少人数授業の特性を生かす。・普段から、「なぜこのようになるのか？」という問い掛けをしていくとともに、生徒に説明させることで、論理的な思考を身に付けさせていく。